

## 近況報告：挙式、長女誕生、自分のキャリア… (自分の夢、娘の夢、お客様の夢)

第1期OB 井川 倫士

こんにちは。毎度おなじみ1期の問題児、井川です。1年の始まりをこのゼミの寄稿文から始める年が続き、正に年始の行事と化しています。さて今回は、昨年結婚報告に次いで1年の報告と、さらに自分への戒めと共に5つの宣言をしたいと思います。この場を借りて宣言するのは、私を良く知る人にとつては「またか…」でしょうが、最近の私の信条に『空中に絵を描いても何も解決しない』というものがあり、この機会を活かして現在考えていることをまとめようと思います。

### ◆前回の2012年2月のOB寄稿文からこの1年

まずは時系列でプライベートの変化を報告。6月30日に挙式・結婚式を行いました。2012年1月の入籍後すぐに妊娠が発覚し、これからのことを考えて8月5日に妻の実家(草加)へ引っ越しました。そして10月28日に長女(侑里)が誕生。まさに怒涛の1年でした。楽しいことばかりでしたが、正直プライベートに忙殺され、仕事の方はそれほど進展しない1年でした。嫁さんと2人で旅行や食事に行く時間を持つことも、将来の夢になりました。ところで長女侑里の誕生は私の誕生日(10月27日)の次の日だったため、友人や家族から「よっぽどパパと同じ誕生日は嫌だったんだね。」と言われる始末(笑)

子育てはやはり楽しいことばかりではなく、大変なことが多々あります。パパとして一番大変なのは、新米ママである奥さんの精神的なケアだということを実感しました。妻のゆう子は、昨年の2月に転職したこともあり、特に私以上に精神的にも肉体的にも大変な1年だったと思います。そんな中での出産子育てで、最初の1か月はだいぶ参っているようでした。しかし、娘の笑顔を見るだけで、私だけではなく家族中がほんわかします。そして妻の両親が子育てや妻のケアを手伝ってくれることに、とても感謝しています。ここで最初の宣言をします。

①結婚生活：結婚式での新郎挨拶通り、たくさん会話し感謝の気持ちを大切に生活していきます。

②子育て：子供の清らかな部分を伸ばす。「子供は社会が育てる」をモットーに直接経験を積める環境を用意し、自分の得意なこと、好きなこと、やりたいこと(夢)を見つけ伸ばしてもらいます。

### ◆長女誕生を機に通い始めた一新塾

昨年は、結婚、長女誕生と同じぐらいの転機を得ました。そのきっかけは11月から通い始めたNPO法人一新塾です。仕事のつながりで知り合った方から「将来、茨城に帰るつもりなら行ってみると良い」と

アドバイスされました。一新塾のことを少し紹介します。ここは元マッキンゼーの大前研一さんが立ち上げた「日本のネクストリーダーを養成する政策学校」です（現在は大前さんからは独立しています）。市民の目線で実践的なプロジェクトを立ち上げることに特徴があります。講師の方もその道では一流の方ばかりで、卒塾生の中には政治家（国会議員、地方議員や知事、市長など）になった方や社会起業家として有名な方が多数います。興味のある人は遠慮なく私に聞いて下さい。

一新塾のフレームワークに『6つの箱』というものがあります。（参考：『「根っこ力」が社会を変える——志と共に市民の時代を生きる』一新塾、ぎょうせい（2011）6つの箱を回し過去と未来の自分と向き合うことで、改めて自分が家族や故郷を切り離せない価値観で生きていると再認識。故郷が衰退する様をほっておけない…とは思いつつも、これまでは「誰かがやってくれるはず」と人任せにしていました。通塾をきっかけに、自らがリーダーとして地域貢献、地域活性化させようと決めました。人は何か問題があると“悪者捜しや悪者創り”をしてしまいがちです。悪者を退治するには正義のヒーローであるリーダーが必要になります。しかし、そのようなリーダーは“青い鳥”と同じで存在しないと気づきました。これまでの自分は社会問題に対して傍観者でしかなく、実際は社会問題の加害者に陥っていました。まだ具体的ではありませんが、茨城にUターンし、市長として「3世代4世代が交流する笑顔いっぱいの街づくり」をしたいのです。ここでまた、一新塾で一念発起したことを宣言します。

③将来のミッション：実家の茨城県銚田市に1年半後にUターンし、“犯人捜し”を止めて自らがリーダーとして地域貢献、地域活性化に一生身を投じます。

#### ◆これからのキャリアと1年半後のUターン

「また井川が始まった…。」私を知る小野ゼミ生はそう思うでしょうね。（笑）その通り。まだまだ私は自分の能力に対して壮大な夢を抱えています。今のファイナンシャルプランナー（以下FP）の仕事「お客様の夢の実現は？」は、もちろん大事にしていきます。でも、1年半後に独立し、将来は茨城を拠点に仕事を続けます。事業名は「Life Book & Company」です。

わざわざFPの名前を使わない理由は、普通の主婦がFP資格を持っているほど日本のFP資格は簡単なものだからです。いえいえ勉強することは良いことですが、FPを仕事にすることと資格取得は、レベルが違います。「FPの資格を持っているので相談は必要ありません。投資も自分でしています。」とおっしゃる方が大半です。そんな方に、こう聞きます。「では投資では儲かっているのですね。」この質問に自信を持って応えてくれる人はそういません。そんなにお金のことは簡単ではありませんし、どうしても“噂”や“昔の常識”で考えてしまいがちです。一般論も“あなた”には当てはまらないかも知れません。特に右肩上がりの成長と人口増加をしていた頃とはお金の常識は変わっています。だからこそ、この仕事は大事なのだと感じています。

「茨城で仕事になるのか？」そう心配してくれる友人もたくさんいます。しかし、茨城は東京より競争が激しくありません。専門家が少ないので私の価値が上がります。今年の税制改正で相続税を払う人が増え

そうですから、田舎は大変です。なぜなら、田舎では、土地の相続評価よりも実売価格の方が低いため、相続税を払うために手持ちの不動産を売って精算することも難しい方たちが増えるからです。

ちなみにあなたの家族は大丈夫ですか？ お父さんが亡くなって、お母さんと子供2人が相続人になると、4,800万円以上の資産を持つ人は相続税がかかる可能性がありますよ。

独立に向けてコアターゲットの1つとして、ご主人を亡くされた方を想定しています。ご主人を亡くされた方の気持ちの整理とその後の手続き、遺産整理のサービスはとてもお役に立てるからです。しかもまだまだ発展段階です。その他にも今話題となっている「月3万円ビジネス」を田舎でいくつか作るつもりです。ここで仕事に対する宣言を。

④仕事の行く先：FPとして独立し、並行して月3万円ビジネスで経済的独立を果たします。

#### ◆自分への戒めとメッセージ

ここ何年間かパラダイムシフト（斬新なアイデアにより時代が大きく動くこと）が起こると、寄稿文に書いてきました。その方向性は文明のパラダイムシフトが起こることであると確信しています。そんな中で今までのリーダーが陳腐化してきています。というよりも、本物のリーダーが足りないのでしょう。実際、最近流行のビジネス書はリーダーに対する著書が増えているように感じるからです。この時代の荒波を楽しく乗り越えるためには、自分も時代の加害者であるという認識のもと、主体的に生きることが大切でしょう。過去に生きたり、人のせいにして主役である自分を変えなかつたりすることからは、何も生まれません。ましてや、自分がリーダーとして活躍するためには仮説を立てる能力や検証する能力がとても大切です。そして仲間作りも。これらは企業や行政で働いたり、その他の組織、仲間と活動したりするためにも必要な能力です。くしくも小野ゼミ生は、仮説検証の経験をたくさん踏んでいます。また、ゼミ生として主体的に学び行動することを求められてきました。今こそ小野ゼミ生の活躍の好機と言えるでしょう。ここで最後の宣言をしますが、これは共感してくれる方達と共同で宣言したいです。

⑤我々の夢：お互いに自分の道を切り開いていきましょう！“ふぁいと”



著者の結婚式の様子



著者の御息女